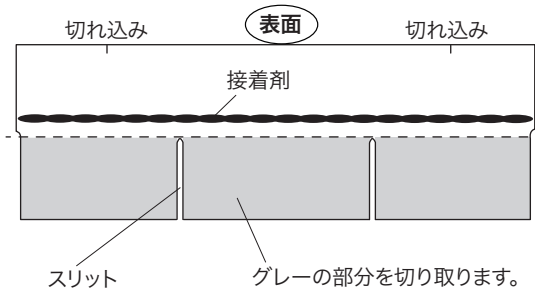


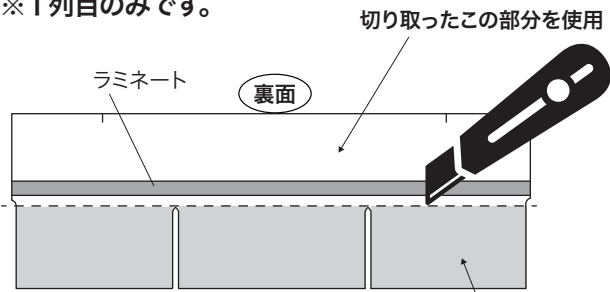
# シングル屋根材の張り方

## ① 1列目のみスリット部分(図の色つき部分)を切り取ります。

- 図のようにスリット部分を切り取ったものを打ちつけます。※ 1列目のみです。  
切り取り方法は裏返しにしてカッターで切り取ります。



裏返します。

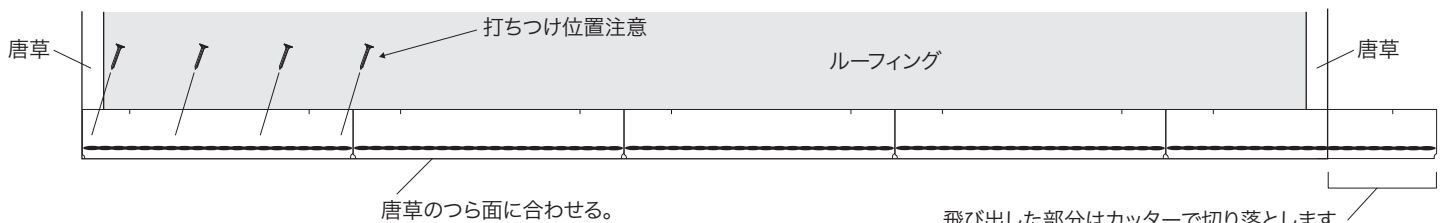


スリットの上あたりにカッターで1~2回程度強めに切り込みを入れます。何回か2つ折りにすると切り離せます。

切り落とした部分は使用しません

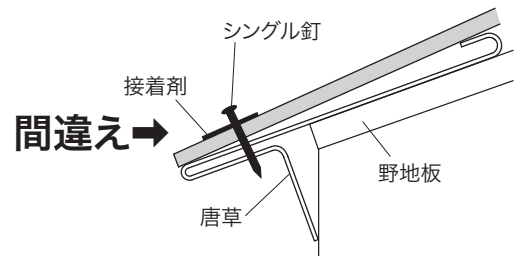
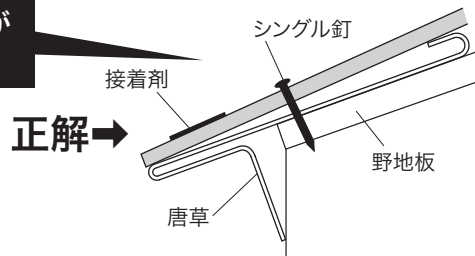
## ② 1列目(捨て張り)を張ります。

- 取り付け位置は唐草面に合わせてください。



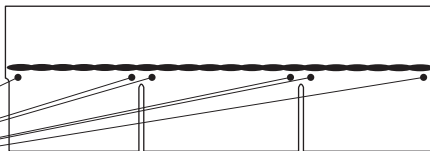
飛び出した部分はカッターで切り落とします。

1列目(捨て張り)のみ釘打ち位置が異なりますので注意してください。

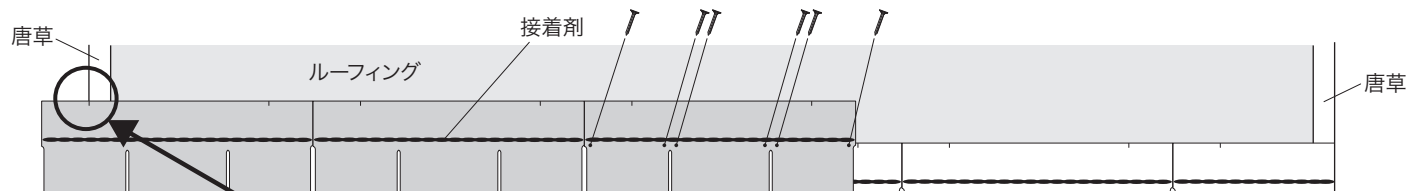


## ③ 1列目(二重張り)を張ります。

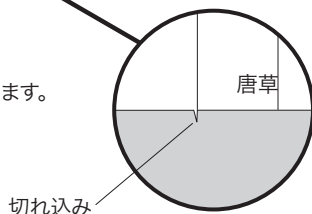
- 1列目の上に打ちつけます。



シングル専用釘打ちつけ位置

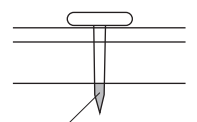


飛び出した部分はカッターで切り落とします。



1列目とつなぎ目が重ならないようにします。シングル材の上部にある「切れ込み」部分を唐草の端に合わせて打ちつけます。

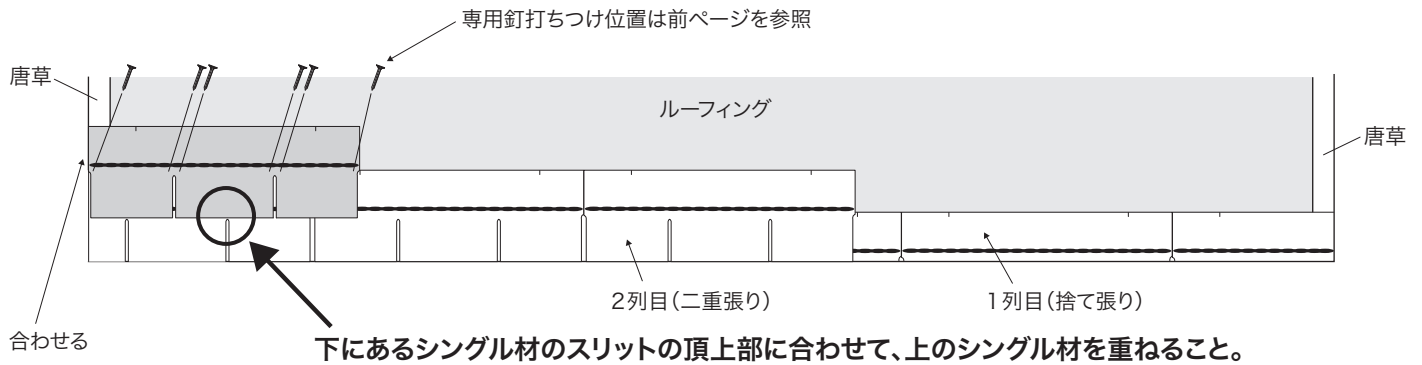
専用釘が屋根野地板より飛び出して(貫通して)しまいますが問題ありません。貫通することにより保持力が出ます。室内側に飛び出した釘は合板面で切り落としても大丈夫です。



切り落としてもOKです。

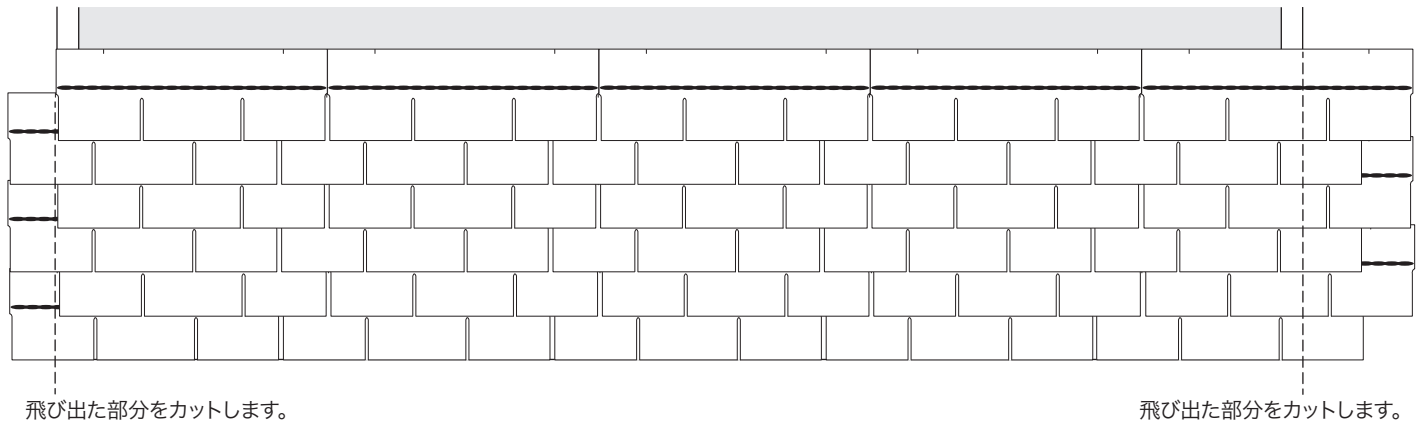
#### ④ 2列目を張ります。

- 捨て張りと左端が同じ位置になるように張り始めます。前列で張ったシングル材の“つなぎ目”が常に隠れるように打ちつけてください。前列で打ちつけたシングル専用釘が必ず隠れるようにします。



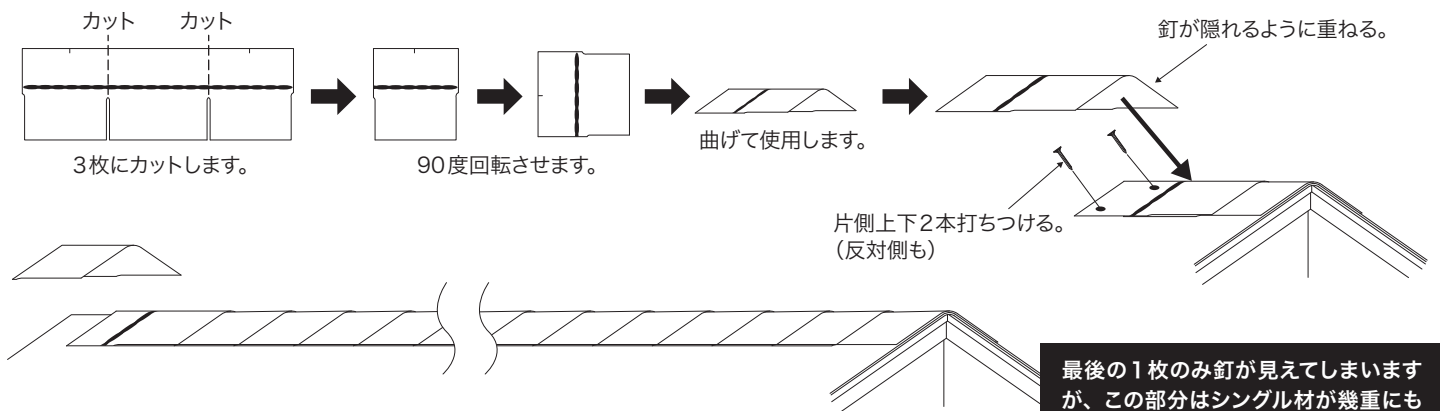
#### ⑤ 重ねて張ります。

- ③④の張り方を繰り返して張ってください。  
屋根の端から飛び出した部分は唐草の端に合わせてカッター等で切り落としてください。



#### ⑥ 天辺部分を張ります。

- 図のようにカットしたシングル材と②⑤で切り落としたシングル材を曲げて使用します。



最後の1枚のみ釘が見えてしまいますが、この部分はシングル材が幾重にも重なるため釘が見えていても雨漏りすることはありません。